

ビジネスと日常を有利に進める「先読み技術」入門

～ゲーム理論入門の入門～

1. Introduction

ビジネスや日常生活は、相手の動きで結果が変わる「駆け引き」の連続です。企業間の交渉や市場への対応、あるいは個人としての重要な決断など、あらゆる場面において戦略的な思考が不可欠となります。

激しい変化のなかで、これまでの**経験や鋭い勘を活かしつつ**、それを論理的な判断基準で補強し、最適な行動を選べるようになる必要があります。本講座は、学生から社会人まで、日常の意思決定の質を飛躍的に向上させ、将来を切り拓くための「先読みの技術」を身につけるためのものです。

2. 講座の目的

本講座は、誰もが経験や勘に頼るだけでなく、論理的に意思決定を下すための「戦略的思考」を習得することを目的としています。対人関係や社会における「駆け引き」を先読みし、情報不足や予期せぬ裏切りがある状況でも、自分にとって最も有利な「最善手」を導き出す判断力を養います。

- **戦略的フレームワークの習得**: 物事を「ゲーム」として捉え、損得表（利得行列）などのツールで状況を整理できる。
- **「裏切りのワナ」の回避**: 全体にとって不利益な結果（ジレンマ）を防ぎ、効率的な協力関係（パレート最適）を築く戦略を立てられる。
- **「逆算思考」による実行力**: 最終的なゴールから逆算して、今取るべき最適なアクションを導き出せる。
- **不確実な状況への対応**: 情報が足りない場面でも、確率や推論を用いて冷静にリスクを管理し、判断を下せる。

3. 対象

本講座は、組織の中核で判断を下す方から、日常の選択をより良くしたい個人まで、あらゆる「意思決定者」を対象としています。

- **納得感のある決断をしたい方**: 就職・進路の選択や、事業の方向性、大型投資など、人生や組織の節目における重大な決断に論理的な裏付けを持ちたい方。
- **円滑な合意形成を目指す方**: 友人との調整や家庭内の分担から、部門間の利害調整や取引先との交渉まで、対立をスマートに解決したい方。
- **不確実な状況を乗り越えたい方**: 新規プロジェクトや採用活動など、情報が不足し「先が読めない」場面でも、冷静にリスクを管理したい方。
- **経験を体系化したい方**: 長年の「経験や勘」を、若手や後継者にも共有できる普遍的な思考法として整理したい方。

4. 参加者が得られる価値

- **納得の決断**: 感情に流されず、論理的な裏付けを持って「最善手」を選べるようになります。
- **先読みの視点**: 自分だけでなく「相手の動き」を逆算して捉え、長期的な安定を目指す判断ができます。
- **円滑な調整力**: 論理的な根拠で周囲を説得し、全員が納得する効率的な結果を導き出せます。
- **問題の図解化**: 複雑な対立をシンプルなフレームワークで整理し、解決の糸口を素早く見つけられます。
- **知恵の共有**: 自身の経験や思考法を体系化して周囲に伝え、組織や仲間の判断レベルを引き上げられます。

5. 講座のゴール

- **納得感のある「安定点」の発見**: 複雑な交渉を論理的に整理し、最も合理的で有利な「ナッシュ均衡」を導き出せるようになる。
- **不毛な消耗戦の回避**: 「囚人のジレンマ」を理解し、協力が最も効率的な結果を生むよう状況をデザインできる。
- **未来からの「逆算思考」の定着**: 最終的な利益から逆算して「今、何をすべきか」を判断し、最適なタイミングで行動できるようになる。
- **不確実な場面での冷静な判断**: 確率的な推測やリスク分散（混合戦略）を用いて、投資や採用などの意思決定の質を高められる。
- **実務と日常への戦略思考の適用**: 自身の直面する課題にゲーム理論を応用し、論理的な意思決定の土台を築けるようになる。

6. 講座全体構造（全4回・各90分）

（教科書：鎌田雄一郎著『ゲーム理論入門の入門』使用）

回	テーマ	講義内容（エッセンス）	演習テーマ（日常・ビジネスの混合）
第1回	戦略的思考の土台	戦略的思考の定義。損得表（利得行列）の作り方。お互いにとって最善の選択である「ナッシュ均衡」。	価格競争と共存：飲食店やサークルを例に、値下げ合戦から高付加価値戦略への切り替えをシミュレーション。
第2回	信頼とジレンマ	「囚人のジレンマ」の構造。裏切りを防ぎ、長期的な協力関係（パレート最適）を維持する技術。	協力体制の維持：友人との約束や取引先との信頼関係など、長期利益を最大化するための交渉と合意形成。
第3回	先読みと逆算	意思決定の順番を凶解する「ゲームの木」。ゴールから今すべきことを導き出す「逆算思考（後ろ向き帰納法）」。	勝負を決める一手：進路選択や新商品のローンチを例に、相手の反応を予測し最適なタイミングを決定。
第4回	不確実なリスク管理	相手を読めない時の「混合戦略」。情報の不足を乗り越える「推測力」と、実力を示す「シグナル」の活用。	リスク下の最終判断：新規投資や採用・契約など、情報不足の中でも確率的に最善を選ぶ判断力の習得。

7. 講座の特徴

- 理論と実践を凝縮した90分：予習に加え、メインとなる90分のオンラインの場では、講義とグループ演習をセットで行い、「使える力」へと引き上げます。
- 多様な視点が混ざり合う対話型学習：異なる立場の参加者が議論と意思決定を擬似体験することで、多角的な気づきと柔軟な思考が養われます（※参加人数に応じたグループ編成を行います）。
- 一生モノの「共通言語」とネットワーク：立場や業種の壁を越えて深い議論ができる基盤を整え、将来のキャリアや新たな協力関係を築く財産とします。